

今月の出来事

平林木材祭り

『木材業者よ、原点に立ち返れと、私は言いたい』

5月14日 大阪市住之江区平林にて木材祭り第二回が開催されました。

『木にふれよう！平林祭り』と言う催しです。

木材の展示即売会・チェンソーアート・親子木工教室等のイベントが催しの主な内容です。

服部商店は、第一回から参加しています。去年はあいにくの雨でしたが、本年は天候にも恵まれ、約3,000人の入場者の目標を楽々オーバーする大盛況でした。おおよそ5,000人位の入場者が有りました。(去年は約2,500人)

弊社は、木材展示即売より、もっと一般の消費者に『木』に親しんで頂こうと考え、木製品の掴み取りのイベントをメインにしました。(木製のスタンプの掴み取り・一回100円) 子供達約300人がこのイベントに挑戦し、親子さんも大変喜んでくれました。

又、木材の樹種当てクイズを催し、約100人が参加してくれました。満点は一人もいなく12問中9問正解の一般の消費者の方に将棋盤を差し上げました。

このイベントで面白かったのは、材木業者が、参加を躊躇った事と、僅か10人が参加しましたが、半分も答えが有ってないのです。

材木業者が、『木』を、案外知らないのです。

木材は、針葉樹・広葉樹とか、北米広葉樹・北米針葉樹・南洋広葉樹・南洋針葉樹とか色んな分け方が、有りますが、自分が販売している木は熟知していても、扱ってない樹種は、知らないのが、現実です。

偶然、そこで、私の結婚式の仲人さんとお会いしました。大変面白い事しているね！と話が弾みました。

昔の材木屋は、自分の扱い材じゃなくても大体の事は知っていたものだと言っていました。

材木業者は木でご飯を食べているのだから、もう少し勉強が必要ではありませんか？

『親のバカは子供に何故か遺伝する』

高校一年生の一学期が始まりましたが、私の長男は先生に学校の指定の鞆を改造したため始末書を書かされ、鞆の修理を命ぜられました。修理代金を、母親に持たそうと考えたみたいですが、上手くいかず、渋々自分のこずかいから、出費したみたいです。昔、私も子供と同じ事をしましたが何故か怒られませんでした。

私の方が要領良かったかな！

さて教育基本法の見直しは、国会に法案が提出されましたが、教育基本法の改正も、必要ですが、政治家の頭の改造も必要では有りませんか？

公立の小学校・中学校が土曜日休みになってから、子供達の犯罪の低年齢化が進んでいると、私は思っています。学校教育は公平な行政サービスを受けるのが、本来有るべき姿ではないでしょうか？ 裕福な家庭の子供は土曜日も授業が有る私学の学校に行き、そうでない家庭の子供達は土曜日は全部休みの公立の学校に行っています。

何時からか解りませんが公立の学校は土曜日が、全部休みになりました。

格差社会はここから既に始まっています。

教育基本法の改正より、小学校・中学校・高校は以前の様に、土曜日も午前中は授業を行う様に直す方が、本当の改革に繋がるのではないですか？



今月の仕事 『過ちは二度と繰り返さない誓い』

3月に納めたテーブルの出来映えをお施様がお披露目の日に見せて頂きました。しかし何故か変な感じなのです。テーブルの木口側側面に『釘穴』が残っているのです。(釘穴⇒木材の木口割れ防止の為に深さ30ミリの穴が開いている。普通はその部分はカットして使う。)

お施様は私の、高校の偶然、後輩だったのですが、もう少し、私なりのアドバイスを、した事が必用だったと、反省しています。

『仕上がり長さ天板2000ミリです。残りで板脚を製作する。普通は両端から板脚を作って真ん中を天板にするのが鉄則です。』

(弊社はL3メートル T55ミリ W820ミリの板を2000番のカンガ仕上げでお施様に引き渡す。弊社⇒お施様⇒お施様のサイズ及びデザインの希望は設計士に伝える⇒加工は工務店サイド側が行う。)

私が納めた現場でこんな簡単な失敗をした事は、初の経験です。

二度と同じ失敗をしない事を誓いました。



木材蘊蓄話

『木材は決して高くないですね!』

ガソリン等が値上がりしています。木材も薄物合板(2.5ミリのベニヤ)が玉不足です。大手建材メーカーも大幅な値上げをしています。しかし昭和48~49年頃の状況に似ているのになぜ、狂乱状態にならないのでしょうか?

昭和45年の大阪で行われた万国博覧会当時の、12ミリのコンパネ合板は一枚1,850円でした。ホームセンターで販売されている価格を見てください。決して木材製品は高く有りませんね!

何故木材価格が、それほど上昇していない様に見えるのは何故でしょうか?

答えは『為替マジックです。為替レートが360円⇒115円』です。日本国は国力が本当についているのです。

『家の住環境は国力を現すとされています。石油で出来た建材を使わず木材其の物を使う事が日本人の精神状態が安定し、より文化的な国に成長するのでは、無いでしょうか?』

『中国材・ロシア材は今後も原木で入荷するのか?』

タモ原木の大径木が久しぶりに買い付け出来ました。一本はL3メートルで径84センチともう一本はL6メートルで径62センチです。前者はロシア材(ロシアから直接輸入されました・後者は中国材『ロシアから中国へ輸出し⇒日本』と称されています。以上の流通経路で日本へ遥々やって来ました。中国は、原木の輸出禁止処置をしています。しかし何故か日本へ中国材と称して入ってくるのです。



少し話しは飛びますが、中古機械の輸出をしている業者が知人にいます。ロシアに日本で廃業した製材工場の中古製材機械を2~3年前から相当輸出してきたと聞いています。又直近で大きいプロジェクトが有り、製材機械だけでなく木工機械も輸出しますと聞いております。

そうすると、ロシアも原木を輸出禁止にする可能性が有るとの事です。

これは原木で輸出するより、製材品等にする方が現地の雇用にも役に立つからと聞いています。

木材輸出国の内先進国（アメリカ・ヨーロッパ等）は原木・製材品・加工品は貿易協定では、自由に輸出されています。

しかし発展途上国は、何らかの貿易の制限が、現実に存在しています。

中国は表面的には原木の輸出は禁止されています、インドネシアもほぼ中国並みの規制を、設けています。

以上の事から、これからは、資源生産国からの資源ナショナリズムがもっと厳しくなるのでは無いかと危惧しております。

日本がもはやプライスリーダーでは無い！

輸入木材（原木・製材品・合板等）が大幅に値上がりしています。というのは2～3年位前から、木材の価格の決定に日本の係わり方が変わって来ました。

輸入木材（原木・製材品・合板等）も上級材～下級材迄有ります。上級材は圧倒的に日本が輸入しています。

下級材は、開発途上国がもっぱら輸入しています。

確かに、中国等の国々が木材を今まで以上に木材等を必要としています、それだけの原因だけでは日本向けの価格が上昇はしません。

それではなんで価格が上がるの？

『木＝原木』が悪くなってきている証拠です。

日本向けの優良材が、かなり減って来ているのです。これは全ての木材に共通する事です。

木材輸出国が、日本が優良材を少し値段を、高く買ってくれても、商売上、面白くなくなってきている証拠なのです。以前なら原木全体が良かったから、半分は上級材として日本に輸出し、残り半分は、他国に販売すれば、採算が合ったのです。しかし状況が一変したのです。

一番価格上昇が著しなのは合板ですが、合板の生産の特徴は、薄物は良材で生産し、厚物は中級材～下級材で生産します。しかし良材が、極端に不足しています。

その証拠は、合板には薄物・中厚物・厚物と三種類あるのですが、薄物の値段の上昇が厚物に比べて、パーセントで見れば、倍以上値上がりしています。それ程深刻な優良材の不足なのです。

今の原木事情から言えば、日本向けの良材は全体の1/4位まで減ってきており、原木状況が好転する事は、絶対に有りません。日本サイドも枯渇する優良材を必要以上に求めるのではなく、その今の資源状況に合わせた木材の使い方を、考え実行する必要に迫られていると、弊社は考え情報をお伝えします。

木材輸出国から見れば、価格・品質・量の三つの要素から輸入国を判断します。日本は、バブル景気の当時、輸出国からみれば非常に良いお客様でした。しかし現在の日本は、案外値段は出さないし、品質も以前以上に難しい事を要求するし、買い付け量も大幅に減ってきています。そういう事で価格上昇が、現在進行しているのです。

木材価格は全体として、値上がり傾向に間違いありませんが、偽物を高く売ろうと言う思いは、全く有りません。この価格上昇を、旨く活用出来ないかと考えております。例えば2メートルの材が2本必用な現場が有ります。今迄の流通では、4メートル1本で注文が来ています。（2メートルの材2本と4メートル1本の材では前者の方が安い）木出しを正確に出し、正確な長さの注文にして頂ければ、大幅な価格上昇は有りません。決して難しい話ではなく、簡単な話です。

以上のような用途説明等を、して頂ければ、適材適所を徹底することにより、今迄以上のサービスが可能ですし、もっと多くの木材を有効に使って頂けると確信しています。

『建築は基礎・構造材・造作材にお金を掛けなければならない事は絶対の原則』

(株)服部商店発祥の地、今現在は営業倉庫にしている大阪市住之江区平林北の土地の護岸が倒れそうになっているので、現在大規模な修繕しています。1965年に建てた物件です。



建物は本当に40年経過しても確りしています。鉄骨の梁とかは、全然問題は有りません。

この護岸の修理の原因は埋立地での地盤の不当沈下が原因です。現在の進んだ工法では、こうにはなりません。

この土地面積は約300坪、倉庫部分240坪で、土地代金別で、建物・製材機械・器具含めて当時約1,500万円掛ったと、亡き父親から聞いています。

掛る修繕費は、約1,500万円です。母親は株式会社服部商店発祥の地だから、少し位お金をつぎ込んでも、阪神大震災にも耐えうる工事を、する様アドバイスしてくれまして、今工事を始めています。

設備・備品等は順番に新しくしていけば良い話ですが、構造材とか、丈夫な床造作等は、最初から頑丈にすれば、返って安上がりするものです。

今月のワンショット

以前アメリカに行った写真を一枚掲載します。フォークリフト運転の名人ですが、弊社がお世話になっている、仕入先の従業員の一人です。

仕入先を、訪問した時、幹部の方から現場の方迄、色々とお世話になりました。片言の英語で喋りました？(本当に伝わったかな?)

趣味は狩猟とか、仰っていました。アメリカ的ですね!

本当に優しい、プロフェッショナルのリフトマンでした。

